

同居人

佐藤友香（兵庫県立伊丹北高等学校）

はじめに

私の家には、夏になると時々大きなクモが現れます。家に現れるクモは、たいてい糸も張らず、ゴキブリの赤ちゃんやダニを食べてくれます。そんないわゆる「益虫」である家グモですが、見た目だけで害虫と勘違いされることもあります。なので、私はこの機会にクモの良さを知ってもらいたいと思い、この絵を描きました。

私の家に現れるのは、おそらく「アシダカグモ」です。「軍曹」の愛称でも知られています。アシダカグモは先にも述べたように、ゴキブリやダニ、さらにはハエなども食べてくれます。また、人に飛びかかるということもなく、近づくとたいてい逃げていきます。その巨体と俊敏な動きから、苦手な人も多いです。

絵を描く際に力を入れた部分は、クモの目です。私は以前クモにそっと近づき、至近距離で観察したことがあります。その時のクモの目がつやつやと輝いていて、とても綺麗だと思ったからです。

最後に

この絵を描くにあたってクモのことを調べた際、前方に突き出ている脚に毛が生えていることを知りました。身近な生き物の知識が増えてうれしかったです。

アシダカグモは益虫でありながら、その見た目のグロテスクさと俊敏な動きが、嫌がられること多々あります。ただ一緒に暮らし、慣れてくると、愛着さえ湧いてくるのです。無理に好きになってとは言いません。ただ、もし苦手だとしても、彼らを見つけたときは、殺さずにそっとしておいてあげてください。

